

# IoTネットワーク通信ウォッチ

その2：車載向け高速 Gbps ネットワーク HDBaseT

松本 信幸

## 車載向け的高速ネットワーク HDBaseT とは

### ● 家電から始まったイーサネットではない通信

HDBaseT Allianceという団体があります。一見、HDBaseTという名称から、IEEE 802.3イーサネットの系列である1000BASE-Tなどのものの1つに見えますが、実はIEEEとは無関係な独自インターフェースを規定している通信業界の団体です。

かつては、事務用品や家電製品のような一般家庭や小規模のオフィスで使用される機器で用いる統合通信インターフェースを独自仕様で作成していた団体です。対象となる機器も、テレビやプロジェクタ、監視カメラというようなものでした。

こうした機器にイーサネットと同じUTPケーブルを用いて、100Mbps程度のデータとHDMI系の映像信号および最大100W程度の電力を一気に伝送できます。しかし正直なところ、はやっていません。

### ● 車載としてCESで地味に注目

2016年あたりのCESから、車載ネットワーク向けのHDBaseTの分派を展開し始めました。2019年のCESにおいては、本家である家庭などで用いる統合ネットワークとしてのHDBaseTは、展示会の出展物としてはほぼ姿を消しましたが、車載ネットワーク系においては着実に地位を確保しています。

CESにおいては、2017年からHDBaseT Allianceの1社であるValensとしてブースを出展しており、車載ネットワークのデモを行っています。

ここ数年の流れの中で、車載ネットワークというソリューションにおいてもHDBaseT Allianceという名称は消えつつありますが、Valensの車載ネットワークは確実に採用されていっている模様です(写真1)。

前回(2020年7月号)、知っておくべき有線IoTインターフェースとして100BASE-T1を挙げました。少なくともCESで見ている限りにおいては、車載ネットワークとしては、100BASE-T1の方が劣勢に見受けられます。



(a) HDBaseT Allianceという名称は消えつつあるがアライアンスを組んでいるValensの車載ネットワークは確実に採用されていっている模様



(b) 車載向けの分派が地味に注目の車内機器接続イメージ

写真1 車載向け的高速ネットワークHDBaseT

CES2019のValensブースより